(NPO) リサイクルソリューション
〒104-0032　東京都中央区八丁堀 3－11－8　美和ビル 3F
TEL03-3523-3155　FAX03-3523-3156　E-mail info-mita@recycle-solution.jp

令和８年９月吉日

特定非営利活動法人リサイクルソリューション
会　長　　山　縣　宣　彦

2026(令和８年度) 第２回 RSO フォーラム

-災害と共生する、みらいの豊かな港湾空間を目指す-

開催のご案内

拝啓　時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素より当法人事業の活動には格別なるご支援ご協力を賜わっており厚く御礼申し上げます。

RSO では、近年、「防災の観点からウォーターフロント開発を RE-THINK する」の研究をすすめております。ウォーターフロントの防災・減災プロジェクトは「いのち」と「くらし」を守る重要な事業であり、我が国では長い歴史の中、様々な苦難に立ち向かい、経験を深めてきています。

このたび、RSO フォーラムに建築家 坂茂氏をお招きしてお話をお聴きします。「作品づくりと社会貢献の両立」を軸に、国内外の大型プロジェクトから地道な復興支援に至るまで極めて精力的な活動を展開し、建築界をはじめ各界での高い評価と多くの栄誉を得ておられます。港湾の場では、JR 女川駅の復興デザインや「女川町仮設住宅」などがよく知られています。

現在、能登では、能登の象徴である黒く美しい「能登瓦（のとかわら）」を復興建築の資材やアートとして再利用する「瓦バンクプロジェクト」や、避難住宅や漆作業施設、仮設構造物への設計思想の革新的な展開などにも取り組んでおられます。今回のフォーラムでは、さらにこの活動のフィールドになっている能登地の第一線で能登地震発災後、様々な復旧復興事業に取り組んでおられる石川県輪島市と珠洲市の担当者の方より、現状や課題と今後の展望などについてもお聞きすることとしております。

みなとづくりに日常的に深く関係しておられる会員の皆様の、これからの活動を強める力となり、技術やプロジェクトの幅を広げることにもつながる情報を得る貴重な機会と考えています。奮ってご参加ください。なお、フォーラムのご出欠につきましては、10 月 13 日までに E-mail でご返信ください。先着順（200 名を予定）ですのでお早めにお申し込みください。皆様のご参加を心よりお待ち申し上げております。

敬具

2026(令和8年度) 第2回RSOフォーラム (案)

-災害と共生する、みらいの豊かな港湾空間を目指す-

日時 : 令和8年10月22日(木曜日)

時間 : 14時30分～17時00分

主催:NPO法人リサイクルソリューション

共催:(一財)港湾空港総合技術センター・(一財)みなと総合研究財団・
(一財)沿岸技術研究センター・(一社)ウォーターフロント協会・(公社)日本港湾協会・
(一社)日本埋立浚渫協会・(一社)港湾空港技術コンサルタンツ協会・
日本港湾空港建設協会連合会　(予定)

後援:国土交通省港湾局　(予定)

場所 : イイノカンファレンスセンター(千代田区内幸町2－1－1)

プログラム

1. 開会挨拶　14:30～14:40　RSO山縣会長　/　来賓挨拶:港湾局長(予定)

2. 講演Ⅰ　14:40～15:20

「令和6年能登半島地震後の取り組み」(仮)

(1) 珠洲市長　泉谷 満寿裕　氏

(2) 輪島市建設部技監　長川 大　氏

3. 休　憩　15:20～15:30

4. 講演Ⅱ　15:30～16:45

「作品づくりと社会貢献の両立を目指して」　建築家　坂茂 氏

5. 総　括　16:45～17:00　RSO新井研究総監

6. 閉　会

建築家　坂 茂 （ばん しげる） 氏　プロフィール



1957 年東京生まれ。78-80 年、南カリフォルニア建築大学（SCI-Arc）在学。84 年クーパー・ユニオン建築学部（NY）を卒業。82-83 年磯崎新アトリエに勤務。85 年坂茂建築設計を設立。東京、パリ、ニューヨークに事務所を構える。

95 年から国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）コンサルタント、同時に NPO 法人ボランタリー・アーキテクツ・ネットワーク （VAN）を設立し、世界各地で災害支援活動を行う。2010 年ハーバード大学 GSD 客員教授、コーネル大学客員教授。2001～08 年、15～23 年慶應義塾大学環境情報学部教授。

代表作に、「紙の教会　神戸（1995）」、「ハノーバー国際博覧会日本館（2000）」、「ポンピドー・センター メス（2010）」、「紙のカテドラル(2013)」、「大分県立美術館(2014)」、「静岡県富士山世界遺産センター(2017)」、「ラ・セーヌ・ミュジカル(2017)」、「スウォッチ・オメガ （2019）」、「禅坊　靖寧（2022）」、「SIMOSE（2023）」、「豊田市博物館(2024)」などがある。

これまでに、日本建築学会賞作品部門（2009）、フランス国家功労勲章オフィシエ(2010)、芸術選奨文部科学大臣賞（2012）、フランス芸術文化勲章コマンドゥール（2014）、プリツカー建築賞（2014）、JIA 日本建築大賞（2016）、紫綬褒章(2017)、マザー・テレサ社会正義賞(2017)、アストゥリアス皇太子賞（2022）、高松宮殿下記念世界文化賞　建築部門（2024）など受賞。日本芸術院会員、文化功労者に選出（2025）。2026 年 AIA アメリカ建築家協会ゴールドメダル受賞。芝浦工業大学特別招聘教授。